

## 今後の検討の進め方について（案）

日本固有の経営形態の宿泊施設であり、また、様々な経営上の課題を抱え、施設数も減少が続いている日本旅館について、その経営力＝「稼ぐ」力を向上する観点から、生産性向上や高付加価値化、インバウンド対応等の促進を図るため、どのような取り組みを行うべきか、といった課題認識を中心において検討を進めることとしたい。

また、昨年観光産業革新検討会での検討成果や、現在も様々な場で具体的なオペレーションの改善方法が検討されていること等も踏まえ、本検討会では、旅館関係者自身に加え、旅館経営における主要な関係者（旅行業者・OTA、金融機関、行政・観光関係機関）の意見陳述を頂きながら、

- 生産性向上、高付加価値化、インバウンド対応等の普及拡大のハードルの分析、
  - 生産性向上、インバウンド対応等を普及拡大させるために必要な方策の検討、
- について、論点整理、フリーディスカッションの上で、検討成果をとりまとめることとしたい。

なお、本検討会では、日本旅館のオペレーションの効率化に係る議論ではなく、経営戦略レベルでの議論を中心に行うこととしたい。

### 【 検討会スケジュール 】

#### 第1回（平成31年1月）

- ・ 現状やこれまでの取り組み等の説明
- ・ 検討課題等に係る意見交換

#### 第2回（平成31年2月（目途））、第3回（平成31年3月（目途））

- ・ 生産性向上、高付加価値化、インバウンド対応等の普及拡大のハードルの分析、普及拡大のために必要な方策について、各委員からの発表
- ・ 検討課題及び各委員からの発表内容についての意見交換

#### 第4回（平成31年4月（目途））

- ・ 論点整理及びフリーディスカッション

#### 第5回（平成31年6月（目途））

- ・ とりまとめ